

健診システム



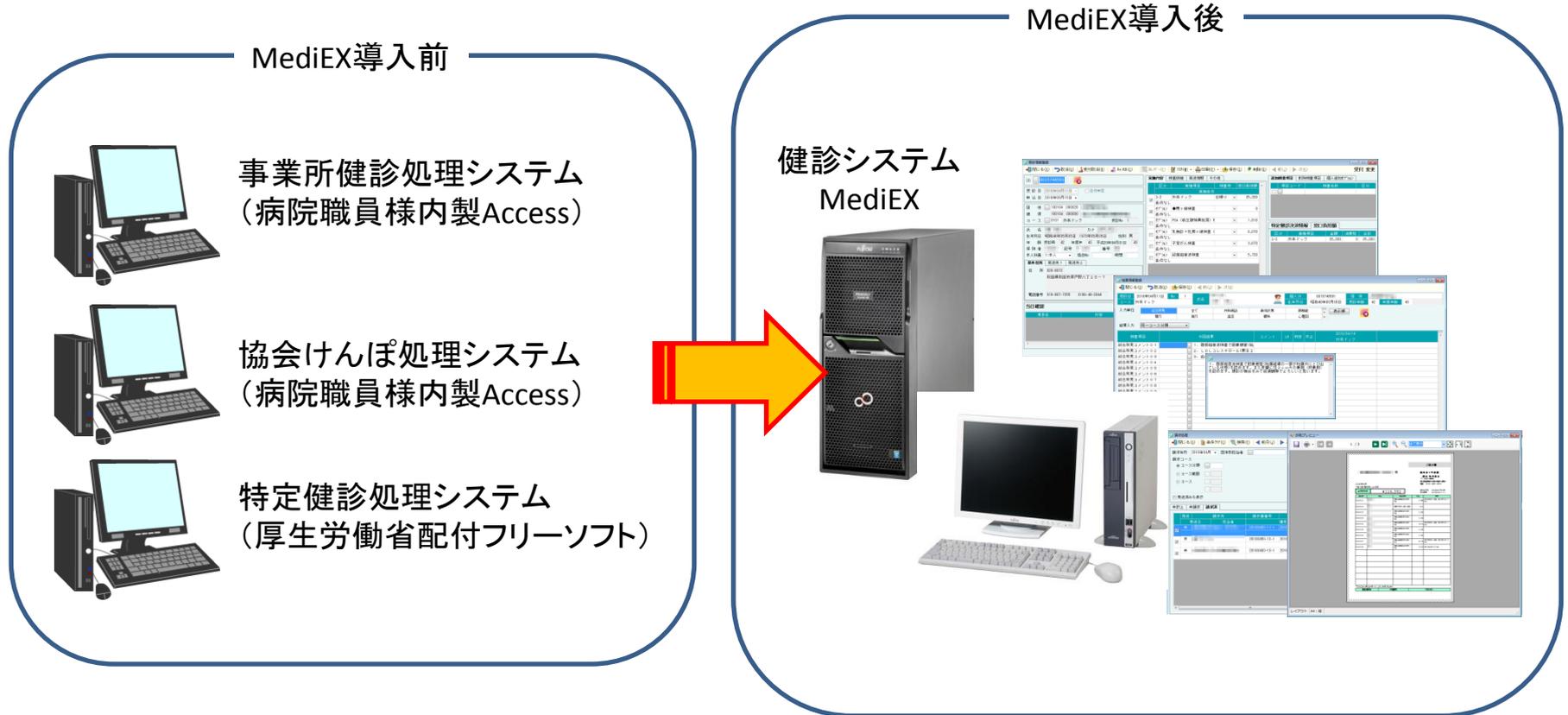
事例集

第2版 2016/08

目次

1. 複数システム統合事例
2. 結果処理・請求処理統合事例
3. 患者属性連携事例
4. 検体検査連携事例
5. リモートメンテナンス事例

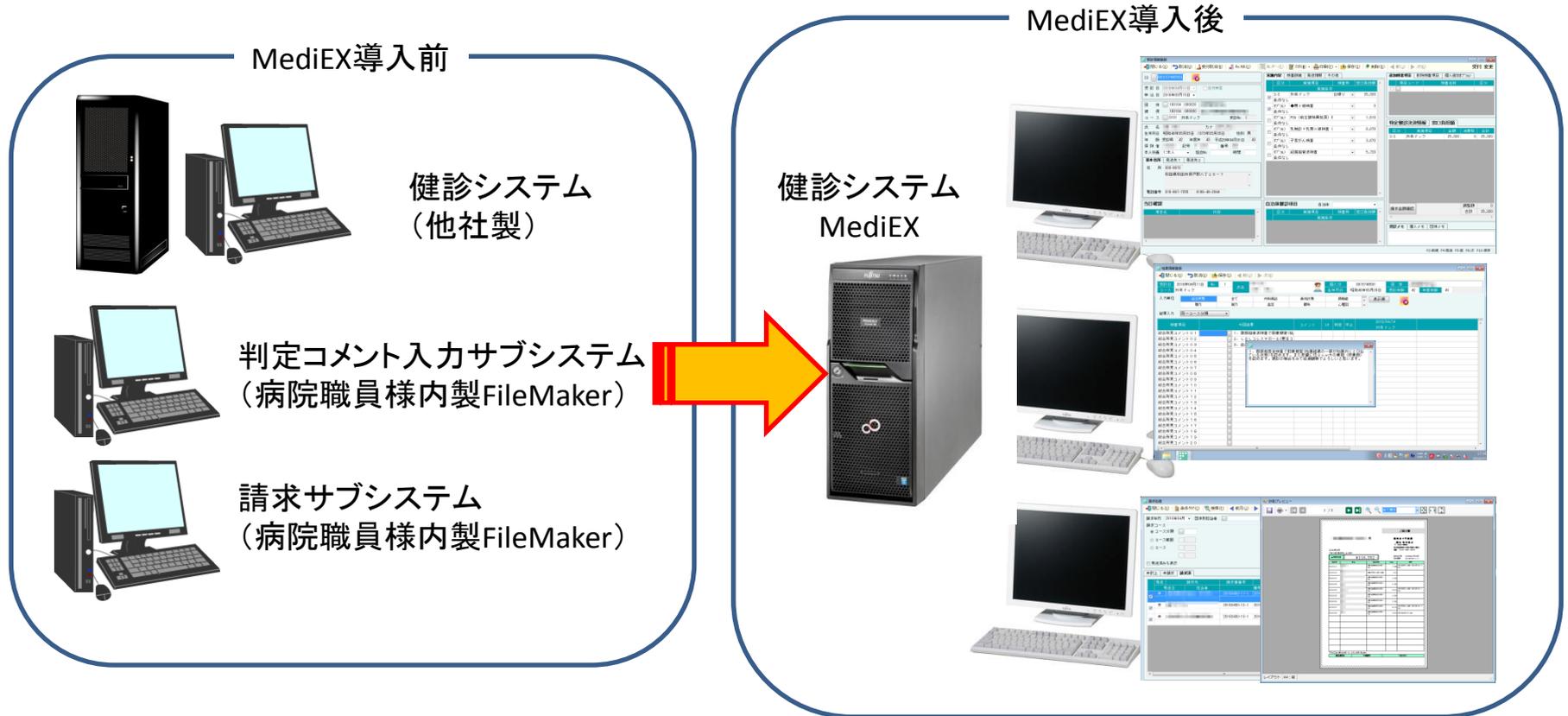
1. 複数システム統合事例



- 健診制度に合わせて個別に対応。
 - 職員様がAccessで内製。
 - 職員様の異動でメンテナンスできない。

➡ **MediEXへの更新でシステムの一本化を実現。**

2. 結果処理・請求処理統合事例



- 健診システムの機能(判定コメント入力、請求)が弱い。
 - 職員様がFileMakerで内製。
 - 職員様の異動でメンテナンスできない。

➡ MediEXへの更新でシステムの一本化を実現。

3. 患者属性連携事例

電子カルテシステム
DWHサーバー



ORACLE

ORACLEクライアントより
一定間隔で連携先サーバーを参照
差分データを自動取込み



SQL Server

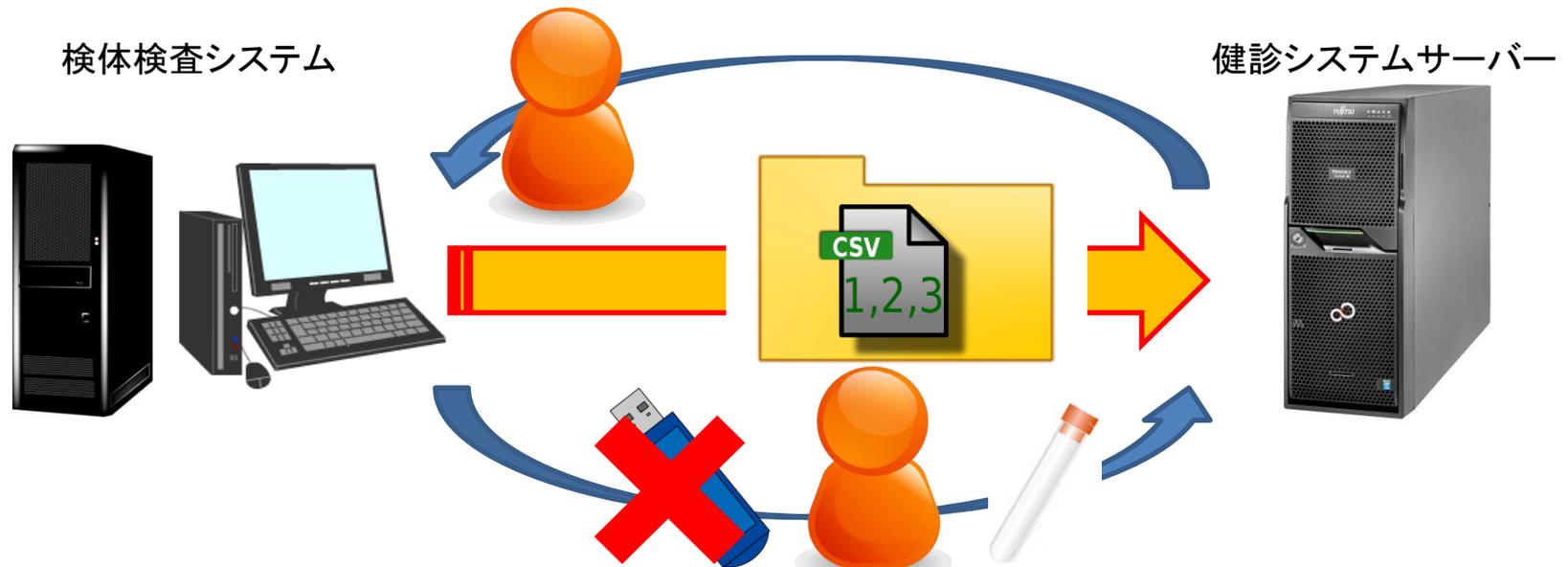
健診システムサーバー



- ・ 医事／電子カルテシステムで保有する患者データを自動取込みする事で、健診システムへの患者データの手入力を抑止します。
- ・ 基本的には医事／電子カルテシステム側のデータを正とし、連携できない項目については補完の為に健診システム側で追加入力を行って頂きます。
- ・ 連携相手先サーバーの仕様によりソケット通信による即時連携、共有フォルダ経由によるファイル連携があります。

4. 検体検査結果連携事例

健診担当者が検査部門へ翌日に使用する採血管を夕方に取りに行った際に当日実施した検査について検体検査システム側でデータ出力を行います。



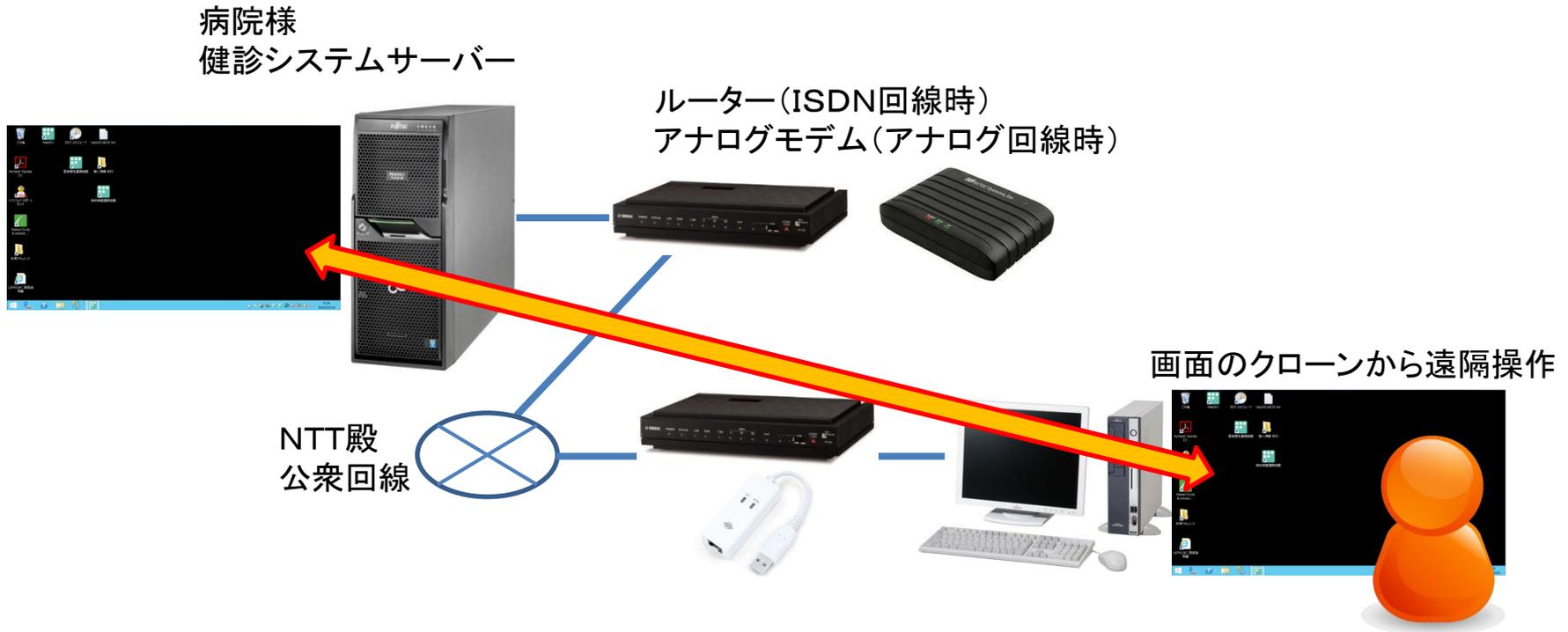
USBメモリによるデータ持ち帰りを廃止。
採血管を持って健診部門に戻るとデータ取込が完了しています。

- ・ 以前は検体検査システム側で出力したデータをUSBメモリに保存、健診部門へ持ち帰ってから健診システム側で取込操作をされていました。



- ・ テキスト出力された検体検査結果データをフォルダ監視し、健診システムへ自動取込を行います。これにより検査結果の手入力機会を減少させます。

5. リモートメンテナンス事例



- ・ リモート接続により弊社社内より遠隔操作を行い、お問い合わせに対応します。
- ・ 弊社ルーターないしアナログモデムよりダイヤルアップ接続(弊社回線より病院様回線へ電話発信)の上 ID/パスワード認証により接続を行います。
インターネットを経由致しません。
- ・ リモートメンテナンスの使用に伴う通話費用は弊社にて負担致します。
- ・ リモートメンテナンスで使用するPCは弊社社内LANから独立の上、セキュリティ対策を実施しています。